



# RESCUE BALLOON-ER

*Intra-Aortic Balloon Occlusion Catheter*

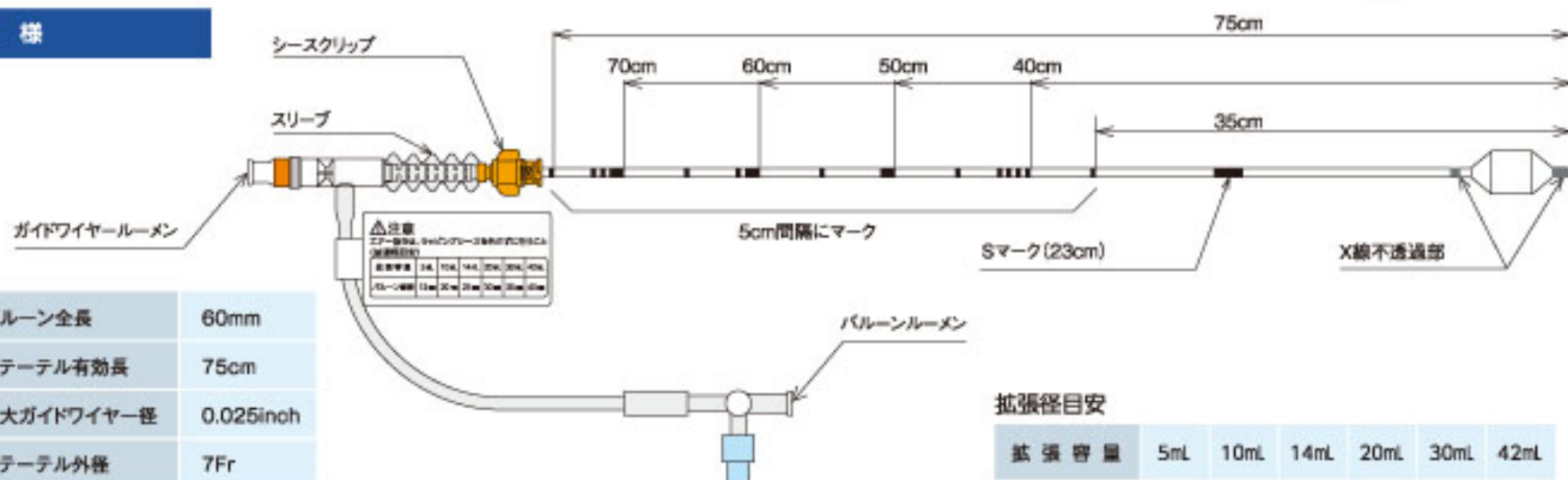
IABO/REBOAの新時代をリードします。

## 徹底した使いやすさを追求した 機能性と利便性

- 挿入可能シース最小径7Fr.
- ワンパッケージ化により緊急現場での迅速な手技を実現
- オクリューション時の動脈圧によるカテーテルのズレをシースクリップのロック機能で最小限に抑えます。
- カテーテルを保護し、挿入後の深さ調整も可能とするスリーブを装着
- カテーテル抜去時の目安に設計されたスリーブ長
- 処置中も下肢状態の目視確認が可能な専用ドレープ
- 物品の追加準備が必要最小限



### 仕様



バルーン全長	60mm
カテーテル有効長	75cm
最大ガイドワイヤー径	0.025inch
カテーテル外径	7Fr
適応シース径	7Fr以上

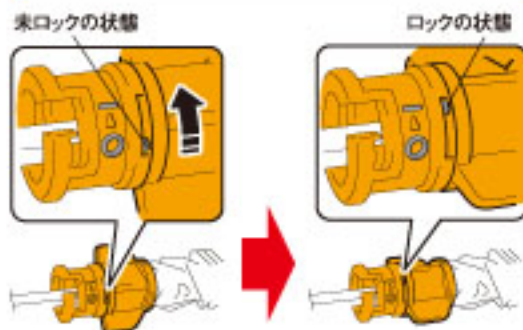
### 拡張径目安

拡張容量	5mL	10mL	14mL	20mL	30mL	42mL
バルーン直径	12mm	20mm	25mm	30mm	35mm	40mm

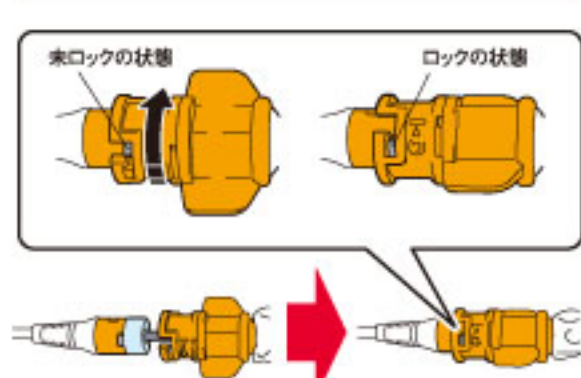
### ドレープ展開手順

- 1 ドレープを袋から取り出します。
- 2 刺入部側のシールを剥がします。
- 3 「頭側」と書かれた側を患者の頭側に配置します。穴が鼠蹊部に来るように、ドレープの位置を合わせて貼り付けます。
- 4 左右に展開します。
- 5 ドレープの透明部分を両手で保持し、持ち上げます。
- 6 透明部分を保持したまま脚側へ引き、ドレープを展開します。
- 7 現収布の上部を脚側へ展開します。(以上でドレープの展開は終了です。)
- 8 (ドレープの撤去) 穴の頭側にあるミシン目でドレープを裂くことができます。
- 9 ミシン目の位置を確認し、ドレープを持ち上げ、ミシン目に沿ってドレープを裂き、撤去します。

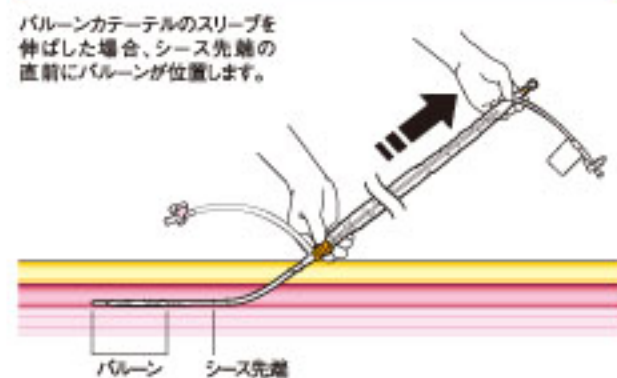
### シースクリップ使用手順/ カテーテルのロック方法



### シースクリップ使用手順/ シースとの嵌合方法



### スリーブ伸展時のバルーンとシース先端部との関係 (カテーテル抜去時)



## セット内容



### アウトートレー

- ①バルーンカテーテル+スタイルット
- ②活検付延長チューブ(91cm)
- ③切皮メス(スカルペル)
- ④持針器
- ⑤針付縫合糸(3号外科強電針25mm 1-0シルク縫合糸75cm)

### インナートレー

- ⑥ロック付シリンジ(30mL)
- ⑦19Gセルジンガー針(50mm)
- ⑧7Fr11cmシースダイレーター(0.025inch刻印)
- ⑨0.025inch 175cm J型エクストラスティッフコイルガイドワイヤー
- ⑩スワブ 2本
- ⑪消毒用トレイ

### 単包

- ⑫ドレープ(120cm×140cm φ12cm 2穴切取縁付 下肢用)

本製品以外に必要な物品  
 ・滅菌済(ヘパリン加)生理食塩液  
 ・滅菌済ガーゼ  
 ・局所麻酔剤  
 ・消毒液  
 など各施設プロトコルに従う。

製品番号	保険医療材料請求区分	JANコード
RB127075	血管内手術用カテーテル(6) オクリュージョンカテーテル⑧ 特殊型	4562382434232
RB127075-S	血管造影用シースイントロデューサーセット (1) 一般用	4562382434256

※本製品はセットのみの販売となります。ご注文時には、製品番号RB127075とご指定下さい。  
 カテーテル本体のみ、挿入キットのみの販売はいたしかねますことをご了承下さい。

改良等の理由により、仕様の一部を予告なく変更する場合があります。本品のご使用に際しては、添付文書を必ずお読み下さい。

### 製造販売業者



本社：〒486-0808 愛知県春日井市田楽町字更屋敷1485番地  
 お客様問合せ窓口 TEL.0568-54-7661 FAX.0568-87-0058  
 代表：TEL.0568-81-7954 FAX.0568-81-7785  
 URL: <http://www.tokaimedpro.co.jp>  
 E-mail: [info@tokaimedpro.co.jp](mailto:info@tokaimedpro.co.jp)